

CS だより

日本キリスト教団逗子教会

牧師 小宮山剛

校長 渡辺 信

聖書のことば

「周りの人びとを 自分のように愛しなさい」

イエスさまは、最も大切な掟は神と人びとを愛することだと言います。日本に来た宣教師たちはこの「愛」にあたる言葉を「ご大切」という日本語に訳しました。愛するとは大切にすることにほかなりません。この言葉の前提には自分自身を愛するということがあります。自分自身を大切にすることが、周りの人を大切にすること、愛することにつながっていきます。自分自身を愛するとは、ナルシスト的な意味で言うものではありません。神さまから創られた存在である自分自身の価値や尊さに気づくことです。そして周りの人も同じだと気づくことです。

(『イエスのことば100』より)

紫陽花の美しい季節になりました。雨の日が続く梅雨の季節でもあります。空や野山や草木や花や・・・自然界に目を向けると、♪神さまが造られた～～の讚美歌が浮かんできます。この季節も、どうぞ元気で過ごしてくださいね。

6月13日の花の日には、教会に来られない方たちへのカードを作って送りました。みなさんの健康が守られますように、そして一日も早く教会と一緒に礼拝できますようにと、お祈りの気持ちを込めました。



CS スタッフです どうぞよろしく

こひつじクラス担当の産形(うぶかた)恵子です。金曜日に、幼稚園入園前のお友だちと保護者の方たちとで礼拝をし、工作したり遊んだりしています。こひつじクラスに来ていたお友だちが日曜日のCSに出席している姿を見ると、とてもうれしいです。讚美歌を歌うのが好きです。みんなと一緒に歌える日が早く戻ってくるといいですね。



6月6日の説教から 『招いてくださるイエスさま』

新約聖書：マルコによる福音書2章13～17節

教会学校さんびか：46『このままのすがたで』

ブレイズソング：『主は今生きておられる』

今日の聖書には、レビがイエスさまのお弟子になった時のお話があります。(レビの別名はマタイです。)

レビは、町の収税所(しゅうぜいしょ)で働いていました。レビの仕事は、町の人からローマの王様に納める税金を集めることでした。収税所の前を通る人に「さあ、お金を出しなさい」「おい、はやくお金を出せ!」と、その人がどんなに貧しくお金に困っていても無理やりお金を取り立てました。レビはたくさんのお金を持っていましたから、立派な家に住み、美味しいものをたっぷり食べることができていたでしょう。でも、他の国の王様の命令に従いお金を集め、人びとの気持ちを考えずにいばってばかりいたので、町の人々からは嫌われ、馬鹿にされ、冷たい目で見られて、お金はあっても、心の中は寂しく愛が無く、独りぼっちでした。

ある日、イエスさまがレビのいる収税所の前を通られました。イエスさまは、そこに座っているレビに心をとめられ、レビを見つめられました。冷たい目では無く、とてもやさしいあたたかいまなざしでご覧になっただろうと私は思います。そして、「わたしに従ってきなさい」と言われました。今まで

誰にも言われたことのないことばでした。「一緒に行こう」という誘いのおことばでした。招いてくださるおことばでした。驚いたでしょう。嬉しかったでしょう・・・スライドのこの絵には、イエスさまにおことばをかけられて、驚き、心が揺り動かされているレビの様子が描かれています。



そしてレビはどうしたでしょう? 聖書には、「立ち上がって、イエスに従った」と書かれています。さっと立ち上がったのです。イエスさまが、レビを招いてくださったことで、レビの心は変えられました。お金やこの世の王様にだけ向いていた心を、イエスさまが神さまの方に向かわせてくださいました。レビは、「この方に従っていこう」と、イエスさまとともに歩む道に進み出しました。

聖書には、その後イエスさまは、なんとレビの家に行かれて、大勢のレビのなかまたちと一緒に食事をしたと書いてあります。一緒にご飯を食べていた人たちは、律法学者や町の人びとから、「あの人は悪い人だ」とか「一緒にいたくない人だ」と仲間外れにされていた人たちばかりでした。律法学者たちは「イエスさまという人は、どうして罪人たちと食事をするのだろうか」と言いました。それを聞いてイエスさまは、「わたしがこの世に来たのは、罪人を招くためです」と言われました。罪人とは、神さまから離れていて、自分中心になっている人、愛することができない人、まちがったことをしてしまう人などのことです。イエスさまは、病気の人や、寂しい人も招かれ、安心をくださいます。そういう人たちのためにいらしてくださったと言ってくくださったのです。

私はイエスさまのこのおことばに、感謝します。「イエスさまは、この私を招くためにもいらしてくださったのだ」と思えます。イエスさまは、今も生きて、私たちを招き、私たちがしっかりと立って歩めるよう、ともにいてくださり支えていてくださいます。私たちの罪の代わりに、十字架にかかってくださるほどに、私たちを愛してくださっています。安心して、喜んで、感謝して、お祈りしながら、イエスさまに従っていきたいと思います。

~~~~~これからのお話~~~~~

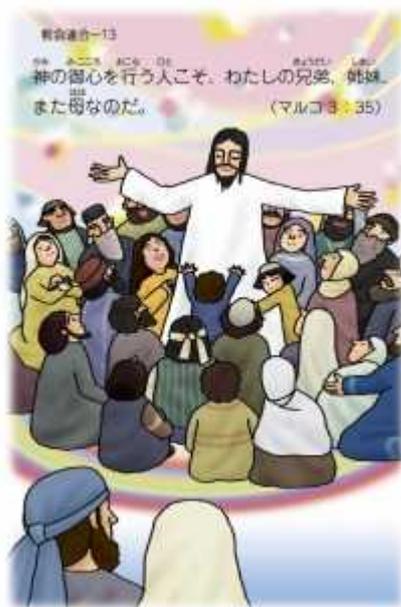
6月13日『いやされた人』



6月20日『イエスさまに呼ばれて』



6月27日『イエスさまの家族』



\* カードの出典は福音主義教会連合

CS 礼拝のユーチューブ配信はこちらから→



facebook でも CS の案内をしています。

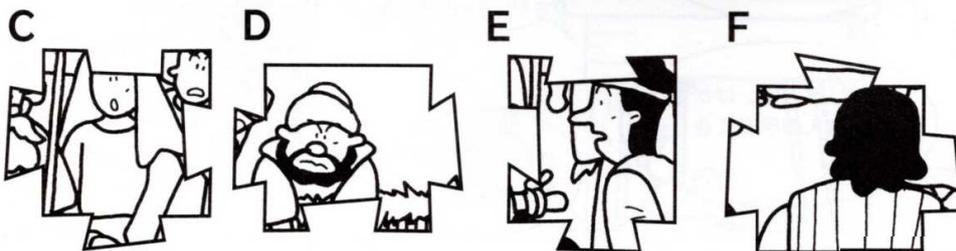
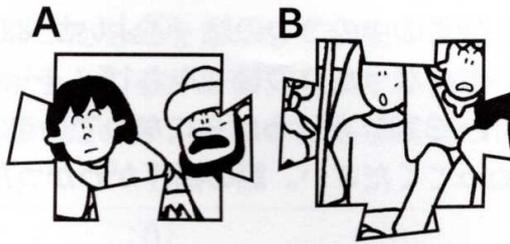
『日本キリスト教団逗子教会』で検索してください

# 挑戦しよう!

## 屋根をはがして

マルコの福音書2章1～12節

屋根にあなを開けて、病気の友だちをイエスさまの前につり下ろした人たち。空いているピースを入れると、あまるのはどれですか。



正解は7月号に

4月号の答→

十二弟子はどこだ

トマス、ユダ、  
バルトロマイ、  
ピリポ

